

第12回対話の場について



- 日時：2023年2月7日（火）18：30～
- 場所：漁村センター
- 出席者：委員16名、ファシリテーター6名、神恵内村、経済産業省、北海道庁、NUMO

<対話のテーマ> 運営委員会の開催結果報告

当日の資料などについては、NUMOのホームページに掲載し、神恵内交流センターで配布しております。より詳しい内容にご関心のある方には、以下の問い合わせ先までお気軽にご連絡ください。(電話番号:0135-67-7711)

文献調査の進捗状況について

交付金制度の紹介と活用の考え方について(テーブルワーク)

運営委員会の開催結果報告

- ▶ 次回は「文献調査」をテーマとし、詳しく取り上げることとなりました。
- ▶ 今年度と同様に、対話の場委員の任期満了に伴い、新たに委員を募集することとなりました。3月中に、事務局から神恵内村の皆さまへご案内いたします。
- ▶ NUMOから、委員よりご質問を頂戴していた、処分事業により発生した原子力損害の賠償責任については、NUMOもしくは国が負うことを説明しました。

文献調査の進捗状況について

- ▶ NUMOから「文献調査の進捗状況について」報告しました。
- ▶ 国の審議会で審議されている「文献調査の評価の考え方（評価基準など）」について説明しました。

審議会では何のために説明しているの？

- ▶ 文献・データに基づく評価をするために、まずは評価基準などを定めます。
- ▶ その評価基準などの案をNUMOが提示し、妥当性を審議していただいております。

審議会ではどんなことを説明しているの？

- ▶ 最終処分法で定められた断層や鉱物資源などの項目ごと、これに加えて最終処分法では定められていないが原子力規制委員会から考慮すべきとされている項目の基準案などを提示し説明しています。
- ▶ 対話の場では、鉱物資源や地熱資源などについて、神恵内村における検討例も紹介しました。

今後はどうするの？

- ▶ 審議会においては、NUMOの評価基準などの案へのご意見に対応していきます。
- ▶ 審議会の状況や調査の進捗状況は、引き続き、対話の場にてわかりやすく報告します。

<文献調査の流れ>

(1) 文献調査の開始



(2) 文献・データの収集



(3) 文献・データに基づく評価



(4) 報告書の作成

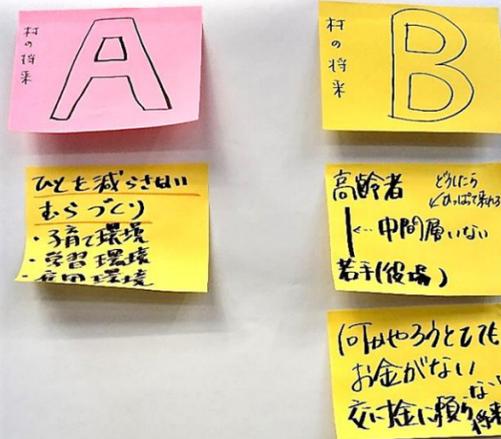
実施中

交付金制度の紹介と活用の考え方について(テーブルワーク)

- ▶ 前回に引き続き、「交付金制度について」と「村の将来について」をテーマに4つのテーブルに分かれ、委員の皆さまからご質問やご意見をいただきました。
- ▶ 地域振興については、今後も継続して話し合う予定です。

対話の場で紹介されたテーブルワークの内容

「村の将来について」話したテーブルの内容



たくさんのご意見のうちの一部が紹介されました

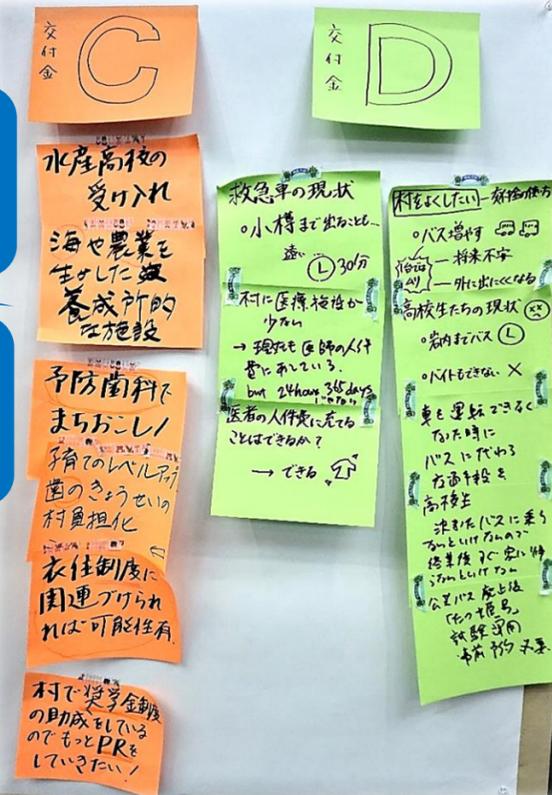
人を減らさないむらづくりをしたい
子育て環境、学習環境、雇用環境を一体として作っていくことを考えたい

若者と高齢者の中間層が他所から来てくれる村に！
交付金をきっかけにしつつ、交付金に頼らなくても持続できる盛り上がりや魅力づくりをしたい

「交付金制度について」話したテーブルの内容

海を活かして、学ぶところをつくれないう
予防歯科でまちおこし！移住促進と関連付けて！
今ある奨学金返済補助制度をどんどんPRする

交付金は医師の人件費など医療体制の整備に！
交付金は廃止される路線バスに替わる新しい公共交通の整備に！



対話の場における配付資料や映像は、NUMOホームページでご覧いただけます。

NUMO <https://www.numo.or.jp/>

